

抄 録

常磐海域のヒラメにおける
Neoheterobothrium hirame 寄生の急激な変動

富山 毅・渡邊昌人*・栗田 豊**

Rapid Fluctuation in Infection Levels of *Neoheterobothrium hirame* (Monogenea)
in Japanese Flounder *Paralichthys olivaceus* in the Joban Area, Japan

Takeshi TOMIYAMA, Masato WATANABE* and Yutaka KURITA**

Journal of Fish Biology 75 (1), 172–185 (2009)

ヒラメの吸血寄生虫 *Neoheterobothrium hirame* (単生類) の動態を調査した。寄生率は 1999～2002 年では 70%以上と高かったが、その後減少して 2003～2005 年では 20%未満で推移し、2006 年には再び増加して 63%となった。一般化線形モデルにより、この急激な変動は沿岸水温、およびヒラメの豊度と前年の寄生虫の豊度の変化で説明された。沿岸水温は寄生虫の再生産成功に、ヒラメと寄生虫の豊度は両者の遭遇率に影響すると考えられる。重篤な貧血魚は寄生の多かった 1999～2002 年および 2006 年において全体の 2.4%であり、この海域においてヒラメに対する *N. hirame* 寄生の影響は小さいものと考えられた。

* 福島県内水面水産試験場

** (独) 水産総合研究センター東北区水産研究所